

HO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

2009. 9 158号

『台風9号、集中豪雨災害』

門徒有志が復旧支援に

8月9日から10日にかけて台風9号の影響による記録的な集中豪雨により局地的な被害が発生し、河川の氾濫や土砂崩れなどによる被害が兵庫教区の各地であった。佐用組

常徳寺(杵築宏典住職)は、本堂床下・庫裏床上・外壁崩落・境内地土砂流入などの被害を受けた。本山と教区から11日に佐用組と宍粟組の7ヶ寺を視察調査し、見舞状や

タオル・飲料水などの救援物資を渡した。兵庫教区災害対策委員会(以下災害対策委員会)は、教区の仏壮、仏婦会員や門徒推進員など門徒の有志を募り、8月12日に教区からバスで参加し現地集合した26名が、特に被害が大きい佐用組常徳寺でボランティア救援活動をおこなった。

徒として何か力になりたい」「阪神淡路大震災の時に世話になった恩返しをしたい」と参加した門徒は、境内に流れ込んだ大量の土砂や、浸水した庫裏の畳や家具の運び出し作業などをおこなった。杵築宏典住職は、「被害に遭い落胆していたが、温かい協力に励まされ、復興へ向けての力がわいてきた」と話された。

その他の被害は次の通り
【寺院被害】▽佐用組 光乗寺(境内地土砂流入)、円徳寺(本堂、庫裏床下浸水) 教蓮寺(参道、本堂裏崩落)

また、宍粟組明願寺(上田芳史住職)は、住民75人の避難場所になった。8月21日に災害対策委員会が開かれ、教区災害基金庫、及び緊急援助や本山からの見舞金など含め約500万の復興支援について協議すると共に、被災地の状況や、災害見舞い、教区の義援金受付口座設置について決定された。



佐用組常徳寺前の商店街の様子



作業終了後のひととき

境内地土砂搬出作業

【義援金受入口座】
◎郵便振替
口座名 兵庫教区教務所
口座番号 0114096231
通信欄 「台風9号集中豪雨災害義援金」
何卒、ご協力お願い申し上げます。

赤穂北組慈眼寺 松田義量

教区だより 9月・10月

9月

4日(金)	寺族婦人研修会	別院	10:30
5日(土)	別院第一土曜仏教講座	別院	13:30
	講師:岐阜教区岐稲組専琳寺横山大悟師		
7日(月)	別院仏婦定例法座		
	講師:出石組西方寺幡多哲也師「現生正定聚」		
8日(火)	丹波ブロック巡回協議会 氷上西組 正福寺		
	団体参拝:大阪教区島中組正徳寺仏婦		
10日(木)	団体参拝:大阪教区南郡組仏婦		
	団体参拝:福岡教区那珂組寺婦		
11日(金)	特法協清風会例会		19:00
12日(土)	別院こども会		10:00
15日(火)	都市開教兵庫支部会議		16:00
	別院常例法座		16日まで 13:30
	講師:城崎組本誓寺堀川宣裕師		
17日(木)	第29回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要兵庫区参拝団		18日まで
22日(火)	別院秋季彼岸会		24日まで 13:30
	講師:大分教区速見組正善寺藤井邦磨師		
23日(水)	別院秋季彼岸会門信徒の集い		10:30
	講師:江里康慧氏		

28日(月)	西脇修繕務就任祝賀の集い		16:00~
	神戸メリケンパークオリエンタルホテル		
29日(火)	寺婦近畿同朋運動推進協議会		30日まで
	団体参拝:加古川組仏婦連盟はまゆうの会		
30日(水)	仏壮・門推等750回大遠忌お待ち受け		
	別院総参拝法要		10月4日まで

10月

4日(日)	総代会東播ブロック研修会		多可町文化会館
8日(木)	阪神ブロック巡回協議会		阪神東組西正寺
9日(金)	団体参拝:東海教区員弁組光顔寺仏婦		
	社会対応部会・ビハラー兵庫合同研修会		
	特法協清風会例会		19:00
15日(木)	団体参拝:大阪教区島上西組明然寺		
	別院常例法座		16日まで 13:30
18日(日)	総代会阪神・神戸ブロック研修会		別院
19日(月)	団体参拝:大阪教区西淀川組光明寺婦人会		
	講社近畿ブロック研修会		京都
20日(火)	教区会議員研修会		21日まで 鳥取方面
22日(木)	東播ブロック巡回協議会		
23日(金)	総代会姫路ブロック研修会		姫路中組法性寺
25日(日)	総代会丹波ブロック研修会		氷上東組福照寺
26日(月)	総代会但馬ブロック研修会		養父組安楽寺
29日(木)	西播ブロック巡回協議会		揖龍西組徳行寺
	近畿ブロック寺婦研修会		奈良

神戸別院報恩講にて帰敬式を実施します。

一、期日

平成21年11月28日(土)

二、時間

16:30

三、場所

神戸別院本堂

四、集合時間・場所

15:30までに別院3階会議室にお越しください。

五、内願法名申込み期限

9月28日(月)

六、内願法名申込み方法

宗報偶数月号の綴じ込み用紙(内願用)に必要事項を記入の上、教務所宛ご送付ください。

七、冥加金

①成人…三万円
②未成年…五千元

敬 弔

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します

谷川フミ子(加古川組正念寺前坊守)平成21年1月29日87歳

寺本アツコ(神明組専福寺前坊守)平成21年2月4日81歳

寶池京子(多可組正福寺前坊守)平成21年2月5日87歳

井村鐵洲(高砂組真浄寺前住職)平成21年2月13日93歳

小林義廣(阪神北組称名寺住職)平成21年2月14日91歳

中尾證憲(北摂組極楽寺前住職)平成21年2月21日94歳

前田みね(朝来組光明寺前坊守)平成21年2月25日100歳

森川弥生(神姫組常徳寺前坊守)平成21年3月2日91歳

石橋すゞ子(多紀組正福寺前坊守)平成21年3月9日99歳

齋藤ミツ(阪神東組來恩寺前坊守)平成21年3月15日106歳

谷口雅子(城崎組西光寺坊守)平成21年3月18日82歳

鍋島智剣(赤穂南組真覺寺前住職)平成21年3月30日88歳

池本玲子(姫路中組法性寺前坊守)平成21年4月3日81歳

中原俊彦(阪神東組専正寺住職)平成21年4月15日73歳

寺住職)平成21年4月9日73歳

鷹野孝明(神崎組浄宗寺住職)平成21年4月10日58歳

平松しげみ(神戸西組長善寺前坊守)平成21年4月14日93歳

池谷昭子(神戸西組佛心寺坊守)平成21年4月22日63歳

森川浩乘(神姫組常徳寺住職)平成21年4月26日64歳

梨尾哲順(阪神北組教蓮寺住職)平成21年4月28日68歳

杉浦弘純(播磨中組専徳寺住職)平成21年5月12日74歳

榎元元裕(阪神南組妙光寺住職)平成21年5月15日63歳

津守幸子(神戸中組徳本寺前坊守)平成21年5月29日89歳

山内義憲(神戸東組安楽寺住職)平成21年6月15日74歳

平成21年6月15日現在



先日、五十代で急死された方の葬儀にお参りさせていただきました。中陰のお参りのたびにそのお連れ合いの女性とお話させていただく中で、葬儀から後、知り合いの方々が元氣付けようと、かけてくださる言葉が逆に辛くて悲しみを増す。とおっしゃいました。例えは「何時までも悲しんでいたら亡くなった方のためになりませんよ」とか、「悲しんでいても死んだ人は生き返らないんだから」とか「まだ若いんだから早く次の相手を探さない」とか「悲しみに日はちかぬから月日がたてば忘れられる」とか。そして一番辛いのが「頑張つてね」という声かけだそうなんです。◆これ以上辛い事は無い時に、精神的、肉体的に今にも崩れてしまいそうなのを必死で頑張っているのに、これ以上上を頑張ればよいのでしょうか。確かにその通りだと思います。私達は悲しんでいる人を目の前にすると、何か声をかけなければと思います。その結果安易な声かけをし、逆にその方を傷付けてしまっているのでは?◆私自身、これまで大切な方を亡くされ悲しみの真っ只中にある方に教義や法話を「説く」ばかりで本当の苦しみに向き合っていないから人々の苦しみに、悲しみを「聞かせて頂く」そして「寄り添って頂く」ことが大切だと聞かせていただいた事でした。

2009少年連盟 サマースクール

2009年7月28日(火) 30日(木)に第46回少年連盟サマースクールが佐用組の法覚寺にて行われた。

佐用町で、自然にふれ大空に輝く星を眺めて欲しいという思いからテーマを「宇宙(そら)と自然と君とぼく」とし、初日は法覚寺の近場の川遊びを予定していた。

しかし、前日の雨天の影響により、本堂でゲーム大会をする事に、最初子ども達は川遊びを楽しむにしていたので、「えー、川遊びしたい」と口々に言っていたのもつかの間、本堂でゲームが始まると子ども達の顔には笑顔が戻っていた。

夕食には法覚寺仏教婦人会の皆様が(何時間もかけて)調理して下さった特製カレーを頂き、子ども達は「おいしいおいしい」と何度もおかわりをしていた。

夜には、ブディストファイヤー「としびのつどい」を行い、法覚寺のご門徒さんの協力をいただき、お家まで提灯の灯りを頼りに訪問し「らいはいのうた」のお勧めを行った。

2日目は川遊びが中止になったこともあり、近所の小学校へボールの使用を問合せた所、快諾のお返事。予定を若干変更し、子ども達も大喜びで我先きと言わんばかりにプー

ルに入っていた。

午後からは、播磨科学公園都市を紹介する施設、オプトピア、大型放射光施設スプリング8を見学、そして西はりま天文台公園に入った。夕食はみんなパーベキューをし、夜7時から待ちに待った天体観測。子供たちは星が見えるかな?と期待を胸に膨らませていたが、空に雲が厚くかかっていたため「今日は見れないかもしれない」との説明があった。もしかすると雲の間から見られるかもしれないと願い、なめた望遠鏡を見学へと移動した。国内最大の口径2m光学望遠鏡「なめた」14億光年先の天体が見ることが出来るという。望遠鏡を見るや、子ども達は「すごい!大きい!」ととても感動していた。

結局星を見る事ができなかったが、子ども達には施設の職員から星について詳しく話をいただき、有意義な時間となった。

最終日は、佐用町名物のひまわり畑へ出向き、ひまわりで作られた迷路へ入り迷いながらもみんな仲良く走り回っていた。

今回のサマースクールでは、佐用の大自然に触れ、私たちは自然と密接な関係にあるんだと気付かされた。

スタッフの方々、法覚寺のみなさまのおかげで無事にサマースクールを終えることが出来た。

教区初

「新任職就任祝賀の集い」開催

7月2日(木)午前11時より開催した参与会連華会総会に併せて午後1時半より「新任職就任祝賀の集い」が行われた。

この「新任職就任祝賀の集い」は、今回初めて行われた行事であり、教区と参与会連華会の共催により開催された。

開会式の挨拶で、松村彰道兵庫教区教務所長は「この度開催することになりました新任職就任祝賀の集いは、兵庫教区が親鸞聖人750回大遠忌に向けた長期計画で掲げておられます三本柱の一つ「人の育成」から発案されましたものであります。兵庫教区には約770もの寺院があり、それぞれのお寺にはそれぞれの事情があるかと思われ、法務についていざという時に大変厳しい状況にありましても、前途多難な運営を強いられることになるとも思われます。その重責の中にもあり任職に就任されず皆様方の覚悟並びに志に敬意を表し、研修会・懇親の場をもってお祝いしようとするものでございます」と開催の趣旨を話し、「兵庫教区では年間約40名の方が新たに任職に就任されます。その方々を対象とし毎年祝賀の集いを開催させていただくことだろうと思われ、これが参与会連華会の具体的な行動とし

て自らが行う事業として毎年実績を積んでいきますことにより、連華会自らも充実されるように意図する側面もございまして、会員の皆様におかれましてもその趣旨をご理解いただきたいと思います。」と述べた。

山本宣昭参与会連華会会長は「私は学校を卒業してすぐに任職に就任いたしました。それから約50年務めさせていただき、現在の任職に継いでいたこともありません。当初のことを思い出してみますと、全く何も知らない状況でありました。ただありがたいは、「お育て」をいただいたということは今つくづく知らされていくことであります。

勤行一つをとっても親のおかげであったことを今更ながら思われることでもあります。それから門信徒の方々がお寺を大事にしてくれたことが私の救いでありました。50年の間に色々ございましたが、今思いますが、何事にも変えられない喜びを頂いたことをありがたく思うことでもあります。」と自身の当時の思いを話され「新しく任職に就任された方々には思いを新たに自信教人信の人生を送っていただきたい」と期待を述べた。

開会式終了後、文化人類学

者・東京工業大学大学院准教授である上田紀行氏をお迎えし、記念講演が行われた。

上田紀行氏は「今回のテーマは「生き残れるか仏教」と題しております。祝賀の席に厳しいテーマではあります。ここで「がんばれ仏教」や「現代における仏教の可能性」というテーマで講演をする、皆様は気持ちよくなり、そして何もしないということになります。しかし

がんばるためには、明日からお寺は本堂に心根を入れ替えて「期待できるんだ」というお寺に生まれ変わっていくことが必要なんじゃないか。世間は仏教に期待するとうような声はあまり聞かれない。これから仏教は説く仏教から聞く仏教になることが大切ではないか。」と話された。

また、「講義で人間は使い捨てだと思おうか」との質問に対し、半数の若者が「使い捨てだ」と答えた。「使い捨てが主流になつてしまふ日本はどうなっていくのか。支えてくれる存在を確信することが若者を変えるんだ。」と熱く語られる場面もあった。

最後に「多くの若者達が人間は使い捨てではない。仏教の教え、仏教の慈悲の中で人は生かされ支えられているんだと感じることが出来る日本であつて欲しい」と締めくくられた。

講演後、新任職となられた方から3名が体験発表をされた。神姫組専光寺竹中尚文さ



新任職就任祝賀の集い

大遠忌気運高まる 阪神東組お待ち受け法要

◆2009(平成21)年6月28日(日)心配された天気ながらも青空が広がり夏の到来を感じさせた去る日、いたみホールにおいて阪神東組の大遠忌お待ち受け法要が勤修された。

法要は1,000名に迫る参列者の中より111名のお子さんたちが稚児行列に参加し、正信偈のお勤めが行われた。記念法話には梯實圓師が「念仏に生きる人々」と題して、宗祖が「現生正定聚」と説き表し、み教えを依りどころとして「いま」を生きる私たちの有様について話された。

アトラクションとして加古川組妙正寺鹿多証道師の進行のもと、阪神東組香華コーラスの合



組大遠忌お待ち受け法要開催状況

- ◆揖龍西組 [平成19年2月18日]
- ◆神戸中組 [平成20年1月26日]
- ◆赤穂南組 [平成20年2月2日]
- ◆水上市組 [平成20年3月2日]
- ◆神姫組 [平成20年3月8日]
- ◆多紀組 [平成20年7月27日]
- ◆阪神南組 [平成20年7月31日]
- ◆掛龍東組 [平成20年10月8日]
- ◆朝来組 [平成20年10月19日]
- ◆北摂組 [平成20年11月16日]
- ◆城崎組 [平成21年4月25日]
- ◆淡路組 [平成21年5月17日]
- ◆網干組 [平成21年5月30日]
- ◆阪神東組 [平成21年6月28日]
- ◆阪神北組 [平成21年7月30日]
- ◆加古川組 [平成21年8月27日]
- ◆高砂組 [平成21年9月8日]
- ◆姫路中組 [平成21年9月12日]
- ◆岡山南組 [平成21年11月10日]

教区仏教壮年会連盟 第34回報告総会・岡山大会

岡山の備前市日生市民会館で岡山ブロックを中心に700名もの仏教壮年が一同に会して「兵庫教区仏教壮年会連盟第34回報告総会・岡山大会」が開催された。

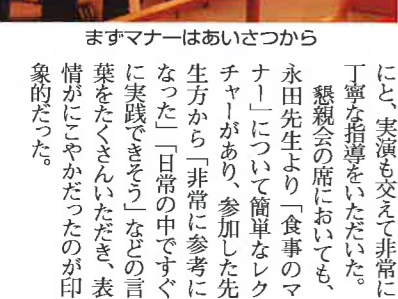
この大会は例年ブロックごとの持ち回りで開催されてきたが、昨年は「第19回全国仏教壮年兵庫大会」が開催されたため1年間延期されていた。

開会式の挨拶で松村教務所長が「昨年の全国大会で参加者の半数をしめる2,300名もの仏教壮年に参加をいただいたことに深い感謝をおぼえました」と挨拶し、続いて平井理事長から「全国大会で多くの兵庫教区内の仏教壮年が集結したことの本当の意義は寺院仏教を結成し仏教活動を活性化していくことで達成される」と挨拶された。

講演では、高橋哲了仏教壮年会連盟活動推進講師が「現生正



の呼びかけ」が平井理事長と藤本毅宗会議員の両名からあり、藤本毅宗会議員は、仏教壮年会の結成当時の話から始まり750回大遠忌に向け、門信徒の目線で活性化を考えていかねばならない、と呼びかけられた。



まずマナーはあいさつから

定聚」と題して「現状の問題点を点検し自覚してどのように活性化していくかを検討し実施することがなければ、それが例えば企業であっても宗教団体や教化団体であっても再生し活性化していくことが困難であるが、現状の問題点を点検し自ら気づくことは、大変厳しいことであり困難なことである。それを乗り越えさせるものこそ信心であり阿弥陀様と相談しながら生きていくこと、それが「現生正定聚」である」とはなされた。

アトラクションでは「琴伝流大正琴アンサンブルひなせ」が大正琴の合奏で美しい音色で演奏した後、「和太鼓 日生甚九郎太鼓」の勇壮かつ力強い演奏が行われた。

その後、「仏教壮年会の結成の呼びかけ」が平井理事長と藤本毅宗会議員の両名からあり、藤本毅宗会議員は、仏教壮年会の結成当時の話から始まり750回大遠忌に向け、門信徒の目線で活性化を考えていかねばならない、と呼びかけられた。

兵庫教区保育連盟 研修会開催

去る5月、新型インフルエンザの流行により研修会や諸会合が延期される中、保育連盟においても新任の保育士や教諭の先生方を対象としたマナー講座が開かれる予定であったが、大事をとって延期とし、再開されたのはインフルエンザの動向が落ち着いてきた7月、ようやく予定していた研修会を開催する事ができた。

講師には、平安女学院大学専任講師の永田美江子先生をむかえ、接遇についての指導をいただいた。

電話や様々な場面での応対、社会人としての基本的なマナーなど、新任の先生方には大変参考になったようであった。

また、「お坊さんがゆく」(本願寺Web)のDVDを見ながら神戸別院の秋嶺職員が仏参指導を行なった。合掌・礼拝、お念珠の扱い方など基本的な指導内容だったが、先生方が幼い子ども達に分かりやすく説明できるよう

にと、実演も交えて非常に丁寧な指導をいただいた。懇親会の席においても、永田先生より「食事のマナー」について簡単なレクチャーがあり、参加した先生方から「非常の中でよく生かしている」と「日常の中でよく実践できそう」となどの言葉をたくさんいただき、表情がにこやかだったのが印象的だった。